

2024-067

研究課題名	外来化学療法を受けている患者への気がかり質問票を活用した支援介入の振り返り
実施責任者	所属・職名：化学療法室 看護師
	氏名： 大西 紀子
研究の概要	<p>外来化学療法室は、患者の日常生活を維持しながら化学療法を通院で行うことができる快適で安全な環境を提供するとともに、がん患者の相談や指導を行うことで心身の安定を図る部署でもある。</p> <p>外来化学療法を受ける患者の疾患に伴う心配や不安などの懸念を多面的にアセスメントするため、心理・社会的支援を行うことを目的とした「化学療法を受けているがん患者の気がかり質問票」(Canser Chemotherapy Cancers Rating Scale：以下 CCRS 質問票と略す)を参考に、当院化学療法室にて「気がかり質問票」を作成し運用を試みた。「気がかり質問票」を客観的指標として支援介入したことの有用性を振り返り報告する。</p>
対象となる個人情報	性別、年齢、がん種、気がかり質問票へ記載した心配や不安などの内容
実施の期間	西暦 2020年 10月 1日より

西暦 2024 年 3 月 31 日まで

研究対象

外来化学療法室にて化学療法を受けている 70 歳以下のがん患者